

川薩グリーンロード全線開通

広域営農団地地域農道整備事業完工式

10月30日、さつま町の平川郷、薩摩川内市東郷町の東郷温泉ゆつたり館で、広域営農団地農道整備事業川薩地区（川薩グリーンロード）の全線開通に伴う安全祈願祭と完工式典が開催され、出席した多くの関係者が開通を祝いました。

グリーンロードは、川薩地区の広域農道を整備して走行経費の削減や農産物の輸送の効率化・合理化を図るため昭和58年に着工し、25年の期間をかけて本年完成しました。さつま町狩宿を起点に薩摩川内市水引町までの総延長は42・43kmで総事業費は251億6400万円です。



全線開通を祝いテープカットをする関係者

男女共同参画社会の実現を目指す

女団連 町長と語る会

10月26日、役場本庁東別館で、さつま町女性団体連絡協議会主催の「第3回さつま町女性団体と町長と語る会」が開催されました。

この語る会は、女性が町政に参加し、男女共同参画社会の実現に向けて、主体的な参画意識の高揚を図ることが目的です。

語る会には、町内の女性団体などから約60人が参加し、人材登録制度による育児支援策や横のつながりを密にした商店街の活性化対策など、今後の町づくりに対して、女性の視点から活発な意見が出されました。



女性の視点から、活発な意見が出された語る会

中山間地域等直接支払いの継続を

農林水産省と意見交換会

10月25日、役場本庁東別館で、農村振興に関する意見交換会が行われました。

この意見交換会は、直接、農林水産省が農業者から地域農業の実情を聞き取り、今後の農業政策に生かしていくために開かれたものです。

意見交換会には、農業者や農業者団体などから16人が参加しました。参加者からは、農林水産省に対して、米価格の下落や生産費の高騰対策、中山間地域等直接支払制度の継続のほか、多くの意見が出されました。



地域農業者と農林水産省との意見交換会